

平成25年9月2日

『FFG調査月報9月号』発行について

経済調査誌『FFG調査月報9月号』を発行しましたのでお知らせいたします。

今回は鹿児島特集です。

メインレポートは、地域と共生するFFG「世界自然遺産20年目を迎える島 屋久島・世界自然遺産登録に向け歩みを進める 奄美群島」です。

FFG調査月報は福岡銀行、熊本銀行、親和銀行の営業店の窓口に配置しております。

【メインレポート】

地域と共生するFFG

九州各県の様々な取り組みをご紹介しますコーナーです。

世界自然遺産20年目を迎える島 屋久島・世界自然遺産登録に向け歩みを進める 奄美群島 鹿児島県環境林務部自然保護課

日本初の世界遺産として、鹿児島県の屋久島が登録されて今年で20年を迎えます。この節目の年に、新たな世界遺産候補に挙がっている奄美群島の登録実現に向けた鹿児島県の取り組みは、新たなステージへと踏み出しました。今回は、鹿児島県の誇る美しい島々の自然と、世界遺産登録に向けた動きを紹介します。

トップに聞く

FFG 3行の頭取が、各行のお取引先を訪問する「トップに聞く」のコーナーです。お取引先の3法人を訪問し、代表者の皆様からお話を頂きました。

永山 ^{ありのり} 在紀 氏 (南国殖産 株式会社 代表取締役社長)

鹿児島県鹿児島市に拠点を置く、九州を代表する総合商社です。起業家精神に富む創業者の志を現在まで脈々と受け継ぎ、都市再開発事業や太陽光発電等、先進的な事業分野にも積極的に取り組まれています。九州の発展なくして当社の発展なしという考えのもと、地域の発展を第一に考え、100年永続企業となることを目指しておられます。

堂園 晴彦 氏 (医療法人 堂園メディカルハウス 理事長)

鹿児島県鹿児島市の中心部で有床診療所を営む医療法人です。総合内科、がん総合診療科等を備えた診療所で地域医療に貢献され、また、良き医療人を育成する為の活動も積極的に行われています。最近では、住民の交流を生み出す共有スペースを豊富に設けた賃貸住宅“NAGAYA TOWER”を開業する等、地域の絆を再生させる取り組みも行っておられます。

島内 和行 氏 (ボングルメ 株式会社 代表取締役社長)

北九州市小倉北区に本社を置き、寿司ネタ加工品等を国内外へ販売している企業です。特に、「あなご」と「つぶ貝」は全国トップシェアを誇っています。あなご商品は、東シナ海産の“天然”の真あなごのみを使用しており、アイテム数も300種類を超えています。「常に素晴らしい美味しさをお届けしたい」という志を胸に、更なる商品開発に注力されています。

海外レポート

「米国製造業の復活」～Made in USA再び～

製造拠点を新興国へ移転させ、米国内製造業は下降の一途をたどっていましたが、最近では米国内製造のメリットが見直され、大手製造業から中小企業まで、国内に工場を戻す動きが広がっています。今回は、その背景と今後の展望についてレポート致します。

「香港と中国の一体化」

香港は、英国から中国に返還されて今年で16年になり、返還50年後の2047年には中国と統合される予定になっています。今回は、返還後に^{あつれき}軋轢を抱えながらも、経済的な結びつきを強める香港と中国の現状についてレポートします。

DATA in 九州

今月の注目データ

九州各地の特徴的なデータを毎号掲載いたします。今回は、「オクラの生産量」と「切り花の年間消費額」についてご紹介します。

《 本件に関するご照会先 》
株式会社 FFGビジネスコンサルティング
企画調査部 森山・大仲
TEL 092 - 723 - 2576